

第2回九州地域協議会災害廃棄物委員会議事録

令和5年9月14日（木）13:00～14:15

於：JR博多シティ10階会議室

出席者：野原雅浩（委員長：熊本県）
吉富慎一（福岡県）、釜崎博昭（佐賀県）、中ノ瀬浩己（長崎県）、
尾形嘉博（大分県）、児玉岳大（宮崎県）、坊野好伸（鹿児島県）、
仲山幸治（沖縄県代理出席）、加久伸治（連合会委員）
オブザーバー：田原慶太（福岡県）、平河孝洋（福岡県）、戸上智広（福岡県）
野坂輝和（福岡県）、佐藤秀幸（福岡県）、石坂孝光（熊本県）
事務局：財津和宏（熊本県）※梅崎弘樹（福岡県）

【配布資料】

- ・会次第資料
- ・参考資料 建設物価（2023.9）建設廃棄物処理・処分費（全産連関東地域協議会調べ）

1 開 会

2 出席者報告

各県委員8名、連合会委員1名、オブザーバー6名、事務局1名 他1名（計17名）

3 委員長挨拶

野原雅浩委員長が挨拶を行った。

4 議長選任

事務局（財津）が全国産業資源循環連合会地域協議会規則第4条第2項に準じて議長選任をする旨説明、野原雅浩委員長が議長に就任し議事を進行した。

5 議 題

（1）各県協会の災害協定締結及び支援対応状況について

各委員が資料1～3により自県協会の支援対応状況等について説明した。

- （福岡県） ・ 協定締結は前回から3市町増えた。
・ 7月豪雨では、久留米市、うきは市、朝倉市から支援要請あり。現在、久留米市の仮置場は受け入れ継続中。不適正な廃棄物もたくさん出ている。
事例：冷蔵庫からフロンガスを抜いたタンクそのもの、重油やガソリン、塗料、農薬等が入ったドラム缶数十本。
- （佐賀県） ・ 7月豪雨は唐津市から仮置場の管理について話があり現地確認を行ったが、結果市職員で対応することとなった。
- （長崎県） 特になし
- （熊本県） ・ 7月豪雨は3町村で被害あり。いずれも一般廃棄物処理業許可を持つ協会員で対応した。
・ 1月に指定地方公共機関に指定されたが、次年度に県防災会議のメンバーになる見込み。

- (大分県) ・7月豪雨は中津市で災害あり。県と会長からの指示で現場を巡回したが、市内の一般廃棄物事業者で対応されていた。仮置場は3カ所設置されておりレイアウトについてアドバイスしたが聞き入れてもらえなかった。
- (宮崎県) ・7月豪雨は小林市と高原町で若干の被害あり。一般廃棄物対応。
・災害廃棄物処理の協力依頼について全市町村と面談中。高原町以外面談済み。
- (鹿児島県) ・西之表市と協定締結。1増加32市町村と締結。
- (沖縄県) ・7月20日市町村との協定締結に向けた考え方やスケジュール等について、県と意見交換を実施。11月頃に市町村に説明を行う予定。

(2) 九州地域協議会からの全産連への要望について

事務局(財津)から資料2-2により、本委員会から第82回九州地域協議会(10月20日)へ協議事項として提出する、災害廃棄物の処理単価及び補助対象基準の設定について(案)を説明し、全委員の承認を得た。

九州地域協議会事務局に提出する。

(3) 各県の活動状況と情報交換について

特になし

(4) 次回開催場所等について

野原委員長が次回開催日を令和6年2月1日(木)15時から鹿児島県で開催する旨提案し承認を得た。会場については鹿児島県の坊野委員へ依頼された。

以上をもってすべての議案審議を終了した。